

年齢調べ

基準日からの日付の間隔ごとに値を集計する

◇機能

《年齢調べ》は、指定した「基準日」からの日数の間隔ごとに値を集計する機能です。年齢調べの結果を文字型フィールドの値ごとにグループ化して表示することも可能です。

《年齢調べ》では、対象となる日付時刻型フィールド（年齢調べの対象）、基準日、基準日からの日数のグループ（年齢調べ間隔）を指定し、数値型フィールド（小計フィールド）を集計します。

（例）在庫マスターで、年末日を基準として、出荷されていない期間を30日ごとに分類し、数量を集計する。

- 年齢調べの対象：[最終出荷日]フィールド
- 基準日：2022年12月31日
- 年齢調べ間隔：0～29日、30～59日、60～89日、90日以上
- 小計フィールド：数量

商品名	倉庫No	数量	最終出荷日		基準日との日数差	年齢調べ間隔
A	01	40	2022/11/05	→	56	30～59日
B	01	60	2022/12/15	→	16	0～29日
C	02	70	2021/01/20	→	710	90日以上
D	02	50	2022/12/05	→	26	0～29日
E	01	90	2022/07/07	→	177	90日以上
F	02	80	2022/11/22	→	39	30～59日
G	01	100	2022/12/28	→	3	0～29日



《年齢調べ》の結果

年齢調べ間隔	件数	件数割合	小計フィールド値 (数量合計)	合計割合
0-29	3	42.86%	210	42.857 %
30-59	2	28.57%	120	24.490 %
60-89	0	0.00%	0	0.000 %
90-	2	28.57%	160	32.653 %

「年齢調べ間隔」ごとに、レコードの件数、割合、小計フィールドの合計値が算出されます。

◇メニュー

《分析》-《年齢調べ》

◇設定内容

年齢調べ

テーブル名 : 売上データ2017上期 1

年齢調べの対象 2

基準日 2023/11/28 3

年齢調べ間隔 0,30,60,90,120,10000 4

小計フィールド 5

フィールド名	データ型
数量	N
仕入単価	F
販売単価	F
金額	N

フィールド選択 7

グループ化対象フィールド 8

フィールド名	データ型
売上番号	C
商品No	C
営業担当者	C
入力担当者	C

フィールド選択 7

統計情報

含める

含めない

出力先

画面

テーブル

IF条件

保存先 13

キャンセル 15

実行 14

1. テーブル名 : 操作の対象となっているテーブルが表示されます。
2. 年齢調べの対象 (必須)
: 「基準日」からの日数を調べたい日付時刻型フィールドを指定します。
3. 基準日 (必須) : 「年齢調べの対象」の日付と比較するための基準となる日付を指定します。
 - デフォルトで今日の日付が表示されます。
 - カレンダーのアイコンをクリックし、カレンダーから日付をクリックして選択することもできます。
4. 年齢調べ間隔 (必須)
: レコードを集計するための日数の間隔をカンマで区切って入力します。
(例) 0～29日、30～59日、60日以上の日数ごとに集計したい場合: 0,30,60
 - デフォルトで「0,30,60,90,120,10000」が設定されています。
5. 小計フィールド (必須)
: フィールドの一覧で、集計する数値フィールドをクリックして選択します。
 - 小計フィールドには、数値型のフィールドのみが表示されます。
 - フィールドは、複数選択できます。選択した順に番号が表示され、集計結果として表示する列の順番が決まります。
6. フィールドの全選択/全解除
: チェックボックスのオン/オフで、すべてのフィールドの選択/解除が行えます。

7. 《フィールド選択》ボタン

: 「フィールドの選択」画面を開き、フィールドの選択・並び順の変更を行うことができます。

8. グループ化対象フィールド（任意）

: 日数ごとの集計に加え、文字型フィールドの値でグループ化して集計したい場合に、グループ化のキーとなるフィールドを指定します。

- グループ化対象フィールドには、文字型のフィールドのみが表示されます。
- 指定できるフィールドは、1つのみです。

9. 統計情報（必須）

: 集計結果に統計情報を表示するか、表示しないかを指定します。

「含める」を選択すると、小計フィールドの平均値、最小値、最大値が表示されます。

10. 出力先（必須）: 実行結果の出力先を選択します。デフォルトは、「画面」が選択されています。

- 画面: 実行結果を画面に表示します。
- テーブル: 実行結果を新規テーブルに出力します。

11. IF条件（任意）: 抽出条件を設定する場合は、「IF条件」に条件式を入力します。

12. 《式ビルダー》アイコン

: 「IF条件」の条件式を入力するために、式ビルダーを開いて使用できます。

13. 保存先（出力先が「テーブル」の場合は必須）

: 実行結果の出力先となる新規テーブル名を入力します。

- テーブル名の長さは、64文字までです。
- 「出力先」で「画面」を選択した場合は、入力できません。
- ファイルの保存先は、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダです。
- 《保存先》ボタンで、保存するフォルダを変更できます。ただし、使用可能なフォルダは、プロジェクトが保存されているフォルダの「04_table」フォルダおよびそのサブフォルダのみです。

14. 《実行》ボタン : 実行します。

15. 《キャンセル》ボタン: 実行せず画面を閉じます。

◇ 実行結果の表示

● 画面出力の場合

在庫マスター × 年齢調べ ×

日時 2023/01/28 17:06:54

テーブル 在庫マスタ

コマンド [AGE ON \[最終出荷日\] CUTOFF "2022/12/31" INTERVAL "0,30,60,90" SUBTOTAL ALLFIELDS TO SCREEN KEY](#)

検出した最小値 3

検出した最大値 710

■数量 ← 小計フィールド名

年齢調べ	カウント件数	件数割合	小計フィールド値	合計割合
0-29	3	42.857 %	210.0	42.857 %
30-59	2	28.571 %	120.0	24.490 %
60-89	0	0.000 %	0.0	0.000 %
90-	2	28.571 %	160.0	32.653 %
合計	7	100.000 %	490.0	100.000 %

「小計フィールド」で複数のフィールドを指定した場合は、「小計フィールド」ごとに年齢調べの結果が表示されます。

<「統計情報を含める」を選択した場合>

年齢調べ	カウント件数	件数割合	小計フィールド値	合計割合	平均	最小	最大
0-29	3	42.857 %	210.0	42.857 %	70.000	50.0	100.0
30-59	2	28.571 %	120.0	24.490 %	60.000	40.0	80.0
60-89	0	0.000 %	0.0	0.000 %	0.000	0.0	0.0
90-	2	28.571 %	160.0	32.653 %	80.000	70.0	90.0
合計	7	100.000 %	490.0	100.000 %	210.000	160.0	270.0

「年齢調べ間隔」ごとの統計情報（平均、最小値、最大値）

<「グループ化対象フィールド」を選択した場合>

■数量 ← 小計フィールド名

倉庫No : 01 ←

年齢調べ	カウント件数	件数割合	小計フィールド値	合計割合
0-29	2	50.000 %	160.0	55.172 %
30-59	1	25.000 %	40.0	13.793 %
60-89	0	0.000 %	0.0	0.000 %
90-	1	25.000 %	90.0	31.034 %
合計	4	100.000 %	290.0	100.000 %

倉庫No : 02 ←

年齢調べ	カウント件数	件数割合	小計フィールド値	合計割合
0-29	1	33.333 %	50.0	25.000 %
30-59	1	33.333 %	80.0	40.000 %
60-89	0	0.000 %	0.0	0.000 %
90-	1	33.333 %	70.0	35.000 %
合計	3	100.000 %	200.0	100.000 %

「グループ化対象フィールド」の値ごとに年齢調べの結果が表示されます。

● テーブル出力の場合

- 1列目に「小計フィールド」列が作成されます。フィールドの値は、小計フィールド名です。
- 合計の行がレコードとして出力されます。

「統計情報を含める」を選択した場合

1列目に「小計フィールド」列が作成されます。フィールドの値は、小計フィールド名です。

	小計フィールド	年齢調べ	カウント件数	件数割合	小計フィールド値	合計割合	平均	最小	最大
1	数量	0-29	3	42.857	210.0	42.857	70.000	50.0	100.0
2	数量	30-59	2	28.571	120.0	24.490	60.000	40.0	80.0
3	数量	60-89	0	0.000	0.0	0.000	0.000	0.0	0.0
4	数量	90-	2	28.571	160.0	32.653	80.000	70.0	90.0
5	数量	total	7	100.000	490.0	100.000	210.000	160.0	270.0

合計の行がレコードとして出力されます。

<「グループ化対象フィールド」を選択した場合>

「グループ化対象フィールド」の値ごとにレコードが統合されたテーブルが作成されます。

(例) グループ化対象フィールド：[倉庫No]フィールド

[倉庫No]フィールドの値：01、02

2列目に「グループ化対象フィールド」に指定したフィールドが作成されます。

	小計フィールド	倉庫No	年齢調べ	カウント件数	件数割合	小計フィールド値	合計割合	平均	最小	最大
1	数量	01	0-29	2	50.000	160.0	55.172	80.000	60.0	100.0
2	数量	01	30-59	1	25.000	40.0	13.793	40.000	40.0	40.0
3	数量	01	60-89			0.0	0.000	0.000	0.0	0.0
4	数量	01	90-	1	25.000	90.0	31.034	90.000	90.0	90.0
5	数量	01	合計	4	100.000	290.0	100.000	210.000	190.0	230.0
6	数量	02	0-29	1	33.333	50.0	25.000	50.000	50.0	50.0
7	数量	02	30-59	1	33.333	80.0	40.000	80.000	80.0	80.0
8	数量	02	60-89			0.0	0.000	0.000	0.0	0.0
9	数量	02	90-	1	33.333	70.0	35.000	70.000	70.0	70.0
10	数量	02	合計	3	100.000	200.0	100.000	200.000	200.0	200.0

倉庫No「01」の年齢調べのデータ

倉庫No「02」の年齢調べのデータ

値ごとの合計の行

合計の行は、値ごとに出力されます。

合計の行は、[年齢調べ]フィールドの値が「合計」となっているかどうかで識別できます。

◇操作ログ

AGE ON [年齢調べの対象フィールド] **CUTOFF** "YYYY/MM/DD" **INTERVAL** "n1,n2,n3,..."
SUBTOTAL [小計フィールド1] [小計フィールド2] …またはALLFIELDS **IF** 条件式 **TO** 出力先 **OPEN** **KEY**
 [グループ化対象フィールド] **STATISTICS**

- ※「CUTOFF」には、「基準日」の日付を記述します。
- ※「INTERVAL」には、「年齢調べ間隔」の日数を記述します。
- ※「IF条件」を設定した場合は、IF条件式が記述されます。
- ※出力先は、「出力先」の選択により、記述が変わります。

出力先	ログ
「画面」を選択した場合	SCREEN
「テーブル」を選択した場合	"サブフォルダ名¥新規テーブル名"

- ※「グループ化対象フィールド」を選択した場合は、KEY [グループ化対象フィールド] が記述されます。
- ※「統計情報を含める」を選択した場合は、STATISTICSが記述されます。